

浜松観光ボランティアガイドの会

令和3年度を迎えるにあたり

浜松観光ボランティアガイドの会 会長 大村眞佐夫



皆様こんにちは。今年もはや4月、令和3年度の春を迎えました。桜は散りましたが、通りにはツツジやハナミズキそして季節の花が満開を迎えコロナ菌何するものと妍(けん)を競っています。季節の花が咲くのもコロナ菌の流行も自然の営みの一つであり不思議な感じがします。現在は人智を尽くしたコロナ菌克服途上の戦の真っ最中といえます。このような状況下、令和2年度は拠点活動の休止、非常事態の宣言、天守閣リニューアル工事などが重なりましたが、当該施設のご理解とご協力を得て、浜松城55%、浜松駅65%、犀ヶ崖資料館85%、まつり会館は開店休業状態と通年では低調でしたが、1月から3月は平常の活動ができました。

会の活動も研修旅行、県民の日施策、広報誌の一時休刊、総会の中止と前半はほぼ休眠状態でした。後半になり各専門部と会員諸氏の努力で現地研修、新人養成講座、富士山の日施策、拠点ガイドも一部復活できました。ことに富士山の日施策は想定外の人気で大混乱をしましたが、半面関心をもっていただけ良かったなと思っています。「ふじのくにしずおか観光大賞奨励賞」を浜松市の推薦を受け受賞できました。支援して下さった皆様と現会員の諸氏及び発足から携わった2千人を超える先輩会員へのご褒美と感謝しております。更に、天守のリニューアルに伴う事務所移転、家康の散歩道の変更と大きな出来事もありました。平均年齢70歳を超える高齢化、新規会員の獲得がコロナを除いた課題でした。コロナに翻弄された1年でしたが、会員諸氏の努力で「できる限り」の取り組みはできたと評価したいと思います。

さて、令和3年度は10名の仲間を迎え102名で活動することになりました。14期生9名の会員が10年表彰されました。定常ガイド活動は4拠点とし、部内研修や県民の日、富士山の日、夏休み講座、新人養成講座など例年通りの活動を考えています。ただし、コロナの流行状況により変更や中止もあります。今年も総会は未実施としますが、組織やガイド活動において一つの転換点を迎えています。柔軟な対応ができるよう規約の改正を提起いたしました。

終わりに、ワクチンの接種が始まり期待はしますが、治療薬は確定していません。これまでの生活に戻るには相当の月日が必要です。当面の対策としてマスクの着用、手洗いの励行、距離の確保、会食の際の注意、しばらくはカラオケの自粛などに注意していきましょう。今年度もコロナ菌と付き合いながら、対応する施設のご協力を得ながら「できる範囲の活動」に取り組んでまいります。厳しくとも、小さなものごとにも感動し感性を磨き、「明るく楽しくやらまいか」精神を忘れずにコロナに負けぬよう頑張ってください。

令和3年度役員紹介

会長は大村眞佐夫さんが続投、副会長は大見美保子さんが留任、鈴木利雄さんが新任です。会計は大隅康夫さん、事務局長は鈴木猛二さんが留任です。専門部長、ブロック長は約半数が替り、4月13日(火)に令和3年度新役員での運営委員会が開催されました。



新メンバーでの運営委員会(いきいきプラザ天龍川にて)

新型コロナウイルスの影響で「定期総会」は中止

今年度も定期総会は新型コロナウイルス感染予防のために実施せず、4月の各ブロック定例会にて議案書案を配布・審議の上各会員からの「書面表決書」の提出による決議を行いました。会員からの意見は今後検討します。また、各ブロック長から新入会員 23 期生の 10 名の方々に法被・ベスト・帽子が授与されました。10 年勤続表彰として 14 期生の 9 名の方々に表彰状と記念品が授与されました。

10 年勤続表彰



小池輝夫さん（東ブロック）
退職の頃は人生 80 年時代。”毎日
が日曜日”から脱出するためガイド活
動を始めて早や 10 年。大過なく活
動ができたことに感謝！最近は人
生 100 年時代。”死ぬまで生きる”
気力で頑張りたい。



中野典子さん（東ブロック）
観光ボランティアガイド。これは
面白そうだと思い応募の電話を
すると明るい男性の声で研修の
日時等を告げられたのがもう 10
年も前のことです。現在先輩方
に支えられ楽しく日々の活動を
させていただいております。



雪島勝司郎さん（東ブロック）
早いもので入会して 10 年。お客
様とのふれあい、ガイド活動、研
修旅行等色々と経験することが
できました。いい出会いが沢
山ありますように。これからも
健康第一で楽しく活動してい
けたらと思います。



大見美保子さん（西ブロック）
いつの間にか 10 年目を迎えて
いました。会員の皆様に支えら
れ、楽しく活動ができて感謝し
ています。これからも沢山のお
客様との出会いを楽しみに続
けて行きたいと思っています。



小栗道雄さん（南ブロック）
お客さんが帰る時、笑って「あ
りがとうございました」と言っ
てもらえるのが本当に嬉しい
です。皆さんのお力添えで勉
強しながら頑張ってきました。
体のほうは大変ですが、これ
からも頑張りたいです。



吉岡良子さん（南ブロック）
10 年経てば博識なガイドにな
れると思っていましたが、あっ
という間に 10 年経ってしま
いました。ガイドそのものとい
うよりも、お客さんや仲間の
皆さんとの時間がとても楽し
いです。これからも頑張りたい
です。



金澤誠さん（北ブロック）
偶然にあった会社の先輩から
誘われて入会しました。歴史は
好きでしたが、最初は仕事と
の両立で苦労しました。あっ
という間の 10 年でした。何
事も興味を持ったら挑戦を
モットーに今後も活動します。



高木甚四郎さん（北ブロック）
武田信玄から水無し、人無し
の地と言われた三方原、今は
テクノポリスとして発展して
います。40 年前に転勤を機
に東京から移住、浜松で 10
年間ガイド活動をし続けられ
たのも皆様の応援のおかげ
です。



田村勇次さん（北ブロック）
人と歴史への触れ合いを求め
てガイドに応募し、ここまで
続けられました。これからも
浜松に来られた方にもっと
浜松を好きになってもらう
ために、浜松城の石段を登
れる限りは続けていきたい
と思っています。

新入会員への制服授与



西ブロックに配属された新入
会員の沼田司さんと前原福
子さんに杉山浩一ブロック
部長から制服の法被、ベ
スト、帽子が手渡されまし
た。

新入会員現地研修会「浜松まつり会館」

令和3年度(23期)は10名の方が新規入会されました。7月からのガイド自立を目指して、5回の現地研修が予定され、第1回目は4月5日(月)「浜松まつり会館」でした。



飯田副館長のご挨拶

当日は雨上がりの快晴、新人は8名が出席、研修部員10名で対応しました。午前10時、飯田副館長のご挨拶をいただき、カリキュラムとしては杉本副研修部長の館内案内の後、屋外に移って津波避難用マウンドについて益田広報部員から説明がありました。実際に上まで上がってみて、一旦解散。その後希望者で砂丘内防潮堤見学をしました。

館内では、まずビデオを見て浜松まつりの概要を知り、麻紐・屋台の歴史・風展示・屋台展示の順で学習しました。屋台コーナーは天井改修工事が終わったばかりですっきりとリニューアルされていました。

受講者からは「浜松まつりの歴史・開催準備や注意事項まで詳しく説明いただき、とても勉強になりました。中でも初子(はつご)さん宅で行われる糸目付け儀式や風が無く狭い場所で風を揚げる時使用されると言う道具『テギ』の説明が興味深かったです」との感想が寄せられました。神社仏閣関係なく、子供(初子)の成長を祈って町単位で行われる浜松まつり、屋台は比較的新しく、大正末期に芸者さんたちの賑やかして始まったとは! 風には2種類あり、家紋・名前が入っているのは初子さんの風、無いのは町の風等々、初めて知る情報に皆様感謝されていました。



津波避難用マウンド前にて

防潮堤からは遠く太平洋が望め、風もひときわ強かったこの日、マスクをしても砂が入ってしまって、小学校の遠足で砂だらけのおむすびを皆で頬張った昔を思い出しました。3.11津波から10年、海岸沿いも元気を取り戻していました。

広報部 金原里枝(南ブロック)



「テギ」の操作を説明

新入会員現地研修会「家康の散歩道(前半)」

4月12日(月)22、23期入会会員を対象に現地研修が実施されました。

研修部員12名を含め総勢24名が5グループに分かれて、リニューアルした【城内・城下ルート】を歩きました。

浜松城せせらぎの池前を9時スタート、元城町東照宮、切通(きりどおし)から元黙口、ホンダ発祥の地を通り椿姫観音へ、さらに東へ進み浜松城の鬼門に位置する浜松八幡宮に到着。コロナ禍中を忘れる静かで穏やかな境内を後に、天下人の中で唯一の浜松生まれ2代将軍秀忠公誕生の井戸を覗き見て、本多忠勝の屋敷があった遠江分器稻荷神社へ。松尾神社、金山神社、浜松秋葉神社、浜松城出丸跡。この5カ所は新しく加わったルート地。浜松秋葉神社は家康が浜松城入城の際、家臣奥平信昌の屋敷内に浜松の裏鬼門の守り神として建立。(奥平信昌は家康の長女亀姫を正室とし、四男一女をもうけ徳川の譜代大名として活躍した)



秋葉神社/浜松城裏鬼門



五社神社・諏訪神社/日本一の狛犬

途中の五社神社・諏訪神社では日本一大きい狛犬に迎えられ、戦前は国宝に指定されていた風格が感じられました。

先頭グループは、最終地の鎧掛けの松に12時到着しました。

街路樹の新緑に癒され最高のウォーキング日和、6.3kmを約3時間で予定通りの行程でした。各所の歴史、見どころ等は研修部から配布された資料を参考にして再度訪ね検証して、知識のポケットを増やしましょう。

広報部 藤田礼子(中ブロック)

新入会員の入会動機

大病を患って以来、世のため人のためにできることはないかと考えはじめ、東京オリンピックのボランティアでもどうかと・・・そんな中、近所の方がボランティアをされていたので（故人）自分も挑戦してみたいなと思いはじめました。長年、浜松に住んでいながら浜松城のことも家康のこともほんの少しの知識しかありません。先輩の皆さんに教えていただきながら少しずつ勉強していきたいと思っています。

趣味は水彩画、スポーツ（テニス、ゴルフ、マラソンにはじまり、今は観戦中心）、旅行（箱根・京都他美術館、温泉が大好き）、美味しい食べ物（なかでも果物とパン）です。

沼田司（西ブロック）

短期間でしたが観光関係の仕事に携わり、観光に関することに興味があったこと。自分自身、長い間浜松を離れていたため、知らないことが多く、改めて勉強してみたいと思ったこと。中長期の視点（アフターコロナ）では、インバウンドを含め、観光客の増加が予想され、ガイドのニーズが高まると予想されること。地域活性化のため、浜松の魅力を適切に来訪者に伝えていくことが重要と思っていること。以上により入会を希望いたしました。

趣味はゴルフ、読書、ジョギングです。最近、フェイスブック（FB）を使い始めました。また、友人の主催しているPC講座を時々受講しています。

坂本勝（中ブロック）

歌の会で知り会った北ブロックの金澤さんから、浜松観光ボランティアガイドの会のことを聞き、「歴史などに興味があったらやってみたらどうですか」とお誘いいただきました。

私は会社を定年で辞めてから、現在は無職で毎日何をやるかと頭を悩ませていました。そんな時のグッドタイミングだったので、それならば少し浜松のことを勉強してみようかと思い立ち応募した次第です。

現在、介護施設（デイサービス）でボランティア芸能活動（どじょうすくい、ものまね、漫才等）をしています。私は何かおもしろいことをして、人に笑ってもらうことが好きです。

長谷川幸夫（中ブロック）

4月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。またこの3カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター（浜松駅構内）」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

複数回来場のあった団体		
* (株)ホールマン	2回	11名
2日 金	JTBメディアリテリング	21名
	アソカ学園ルンビニープレスクール	15名
4日 日	クラブツーリズム	20名
6日 火	エオプレスクール	15名
8日 木	浜松市立中部小学校	16名
10日 土	日産労連	27名

15日 木	磐田市立城山中学校	126名
23日 金	クリスタルクルーザー	16名
*上記以外に14名未満の団体7団体		34名

《犀ヶ崖資料館》

10日 土	日産エルダークラブ	27名
-------	-----------	-----

《浜松まつり会館》

* 団体入場者なし

はままつ案内人会報 226号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会
〒430-0946 浜松市中区元城町100-2（浜松城内）
TEL & FAX 053-456-1303
メールアドレス mail@hama-svg.jp
ホームページ http://www.hama-svg.jp/



出生大名 家康くん

出生法師 直虎ちゃん

はままつ案内人

検索